

依り再び社負及職工ノ減給ヲ漸行セサルベカラサルノ已ムナキニ至リ  
翌月二十九日職工代表ヲ事務所ニ招致シ平均三割ノ減給ヲ發表シ讀イテ  
本月一日一般社負ニ對シ二割乃至四割ノ減給ヲ申請シタルニ  
社負側ニアリテハ工場従業員ニ於テ承認セバ異存ナキ旨回答シタルモ  
職工側ニアリテハ其後屢々職場會議ヲ開催シテ協議ノ結果ニ對シ四割位迄ハ承認スベキ意嚮アルモ社負側ト  
共同斗争ニ出テントノ意見モアリテ函策中ナルガ本月九日全工場  
横手塚ヨリ全協日本金屬勞働組合加盟小穴製作所總同盟反對派  
ナル署名アル別記煽動印刷物ヲ投入セルモノアリ動靜嚴重視察中

右及申(通) 報候也

引記

俺達は債銀値下に絶対反対だ!

植田一派は古いくさい、交遊一忘張りの戦術で諸君をだましてゐる!

今度の問題では斗争委員に奴等を選挙した者は一人も居ない筈だが奴等が交遊に行つたからって當に  
する必要はない。奴等が最初から会社と共謀してゐたのだ!

最初会社は三割値下を基準した。かうすれば諸君は秘密に會議を聞いて交遊に行つた。すると待つてゐると  
由り、会社は二割四分に値下を定めた。これは今迄の基準だ。初めから基準がたつた。では俺達には二  
割四分の値下を承認出来るか?

否か! 俺達は値下に絶対反対だ!  
ではどうするの?

即時 斗争委員大會を開いて、債銀値下に絶対反対即時承認せ!

給料即時支拂しろ! 解雇絶対反対だ!

と決議して全委員事務所に押しつけさせた。あつちもさうして斗争委員を會議で二三名つゝ選  
挙せよ。選挙された委員は自分から斗争委員を開いて斗争委員會を作ると。委員會は斗争委員の  
意見を聞き、斗争委員會は委員会に當り自分の意見を主張するのだ。これは俺達連れが主張するが、  
東島老ロイトの兄弟や、現在斗争委員の兄弟は二人を方針でやつてゐる。

斗争委員會の候補  
全協日本金屬加協  
全斗争委員國陰才  
十六號事務所 信田  
有 討 派